

生産性向上支援訓練の活用事例

《組織マネジメント分野》

訓練コース名 **【成果を上げる業務改善】**

【会社概要】 教育関連業に携わるグループ会社（訓練はグループ内3社で合同実施）

訓練受講のきっかけ（経緯）

平成29年度に社長の「お客様がお客様を呼んでいただける会社になりたい」との想いの下、生産性訓練を実施。今回はそのステップアップとして、年間の訓練計画に基づき、業務改善をテーマとして実施した。

【訓練のねらい】

- ①業務改善の基本的な考え方、手法（SWOT分析等）を学ぶ
- ②①を基に、自社職場の現状の分析を行い、課題の対策を検討
- ③グループワークにより、課題を共有するとともに相互理解の場とする

訓練の実施状況

訓練の概要

- 平成30年6、7月に4回、計16時間、管理職、中堅社員20名受講。
- 主な内容
 - ①業務改善の必要性和図解化
 - ②業務改善の進め方と考え方（現状分析と対策検討）
 - ③演習Ⅰ
自社・職場の課題の明確化と改善企画
（仕事の図解化、現状及び改善企画）
 - ④演習Ⅱ
業務の見える化、活動の進捗管理方法
（仕事の管理方法の理解及び報連相の重要性）

受講した感想

【受講者の声】

- 課題の具体化、解決プロセスを一貫して体系的に学ぶことができた。
- 生産性が向上するかは私たちの取り組み次第だが、今回の研修を通じて学んだ考え方や手法を実践の場に活かしたい。
- 仕事における優先順位や必要性が明確になった。
- 発表が苦手だったが、今回の演習を通じていい訓練の機会を得た。

【事業主の声】

- 特に、自社の強み弱みの分析は新たな発想を生み、職員相互の刺激となり、課題解決への共通の認識が芽生えつつある。
- 会社の課題を自分事として捉える機会になったのではないかな。
- 今後は特に時間管理についての訓練の受講も検討したい。